

高校
阿部野新聞

発行所
大阪市阿倍野区阪南町
大阪府立
阿部野高等学校新聞部
鈴木孝

大學の門え一八九人

ても二十日師走がやつて来る。きつて二十日十一月もあと二日間て終りわれわれ学生にとつても忙がしい師走がやつて来る。

多彩だといふ秋にできかこれから来春の三年卒業生の日迄には行事いろいろは殆んどなくなつた試験までの試験の暇である。卒業式は月十五日、卒業まではあと八十九日である。正月をはさんでこの八十九日間を三年生はどのように迎へようとしているだろうか？

卒業まであと89日

卒業式は二月二十五日

考査が行われる。
 さて二月十六日の進退には本校より百八十九人（内女子三十人）の希望に猛れた若人が大学への狭き門をめざしてこれに参加する。
 この狭き門が出来る、と先ず問題となるのは毎年色々と薦まれる大学及第率の良否であるが、去日中間考査と共に行われた第三回模範試験の結果は別項の如く十位の内四

中周生認 模範試験も回を重ねる事既に三回、初めは全然模範を受ける、と云つた態勢の出来ていなかったと諸君も馴れるに従つて受験態勢の完成しつつあるのは非常に喜ばしい傾向だと思ふ
 第二回の時には二年生が大部分に進出していたが、これは相当離された、二年生は今日で良

一年有余の精進を望んで止まな

「狭き大学への門」の最初の関門である進學適性検査が期末考查と殆んど日を同じくして十二月十六日に行われ本格的な試験が始るのは年改まつた二十八年の二月で先ずトツプを切るのは十五日の同志社大学、次いで三月三日より一日間こわつて京大の第一次

二 一方生徒の卒業態度が如何となると、卒業を問ひかひつかへた三年生の卒業態度が進ずる者となし、一方の卒業を大きく分けられ悠然と滞りついているのは卒業後直ちに社会へ飛び込むとする者である。この二種の区別は第三者にも容易に分けられる。

このように学習態度が異なるのは就職試験大卒の入学よりも容易に

が今年の進学希望校は先ず大阪大学、大阪市立大学、京都大学、神戸大学、摂南大学などの大学があげられ、また私立大学には関西学院大学、関西学院大学、同志社大学、など五年と余り変りはないがこの希望校に対して学校では昨年度と同じ程度の入学率であつて手割し

本年度の卒業生がどの程度にこの難門をパスし得るかと云う事は教師生徒共に大きな問題なのであるが、本年はくわしい進学希望調査が行われなかつたので先徒課の方でも余り正確な予想は出来ない

自覺せよ

受験には今が大切



問 屋上の図書館がどんどん完
成に近づいていますが又図書館
開きを促すと伝えられています
又新聞ではまた発表されなかつた
教育方針に就いては
「私は一つの趣にはめる意味の教
育はきらいだ、私は国家教育法や
問 間に体にはけみ心残りのない
に出席して、学校経営の様子と
教授内容などを相談して来たい
と思つてゐる
学生生活を送つてもらいたい」

赤間本校校長は東京へ歸かれた
全国学校長会議出席されたがこ
れに際して記者は以下の如き一問
一答を試みた。

問 東京へ行かれるそうですが
それが就いて何か……
校長 図書館開きに就いては
未だ何も具體的な事は考へてい
ない。只二日も早く完成して
学校よりも満足する事の出来る学
校にしたい……又個性の尊重と
教育基本法にのつとつて教育をや
つて来ている。

本校に入学したものは誰でも他の
学校よりも満足する事の出来る学
校にしたい……又個性の尊重と

校長 全国学校長会議が東京で開かれる事になったのでそれであると云う意識が自然に表われた結果であらう。

問 愈々入試が近すき又この間の中間考査や模擬試験などの成

各個人の能力を充分に伸ばすこと云う事を念願にしています。」との如く語つた。

方がすつと困難な時代なのである。近頃の特異な学習態度を窺ふ一面が他の所にもある。

即ち二・三月前から出席率が懸くなり遅刻欠課が多くなつてゐるのは氣候的な原因の他にもあつたといふと云ふ事もあるのではなかつたのか？

また大学へ進学しようとする者の中には日本の大学を卒業し、外国の授業をホイユットまでして受験科目に没頭しなければ大學に行けない文化国日本なのである。

大人が破壊した世の中を再建する責任は、この有様なのである。

東洋の諸國をまきいて立つ先進國に追まられるのはせめて艦艇一隻の建造費でもを教育費に加へて貰いたいものだ。

行儀の良い學校

女子大実習生ら語る

大阪女子大学の生徒五十一名がすね。前は松田中学校に行つたのですが始めはやはり戸惑ひし

行儀の良い學校

女子大実習生ら語る

大阪女子大学の生徒五十一名がすね。前は松田中学校に行っていたのですが始めはやはり戸惑いました。高等学校ともなると中学校にくらべてしやすすく対等なもの云えますから中学校の時よりも言葉遣いに苦労しました。また私達は先生である以上この学校の方針に従わねばならないのですが個人にまかすようになつています。」記者に語られた。

に担任して行われ、どのクラスもこれに先生方の授業を熱心にやつているのが見られた。

そこで放課後、五、六人の先生阿部高の生徒に授業中の態度等お聞きして見た。

行儀は非常によかつたですがやが女子だけのクラスとが質問が少なくて活気のないうクラスで手でした。男ウツクスではでもないんですが、一般に云つて新生の方に野次が多かつたので

府教 原谷女史を
委員 迎えて

家庭クラブ十一月總會〇
去る十一月十五日午前九時半より本校講堂に於いて家庭クラブ十一月總會が行われた。先ずデイリーの荒木先生のお話につき、府教育委員原谷女史の講演があり、終了後討論會「女子に大学進学は必要か否か」についていろいろ議論がたがわかれ、顧問の先生の

お話があつて同十二時終了した。

議員の反省を望む

又自治熱の低調を取りあげ、議員諸君の反省をうながすには第三回定例会議会までは流会記録ゼロで好調だった議會が最近は二度もつたつて流会し一度は顧問先生の連絡が不行届きで召集出来ずと云う次第である。その間に記念祭、中間考査等があつたとはいえ、第三回議會以来一月半以上たつてまで一回も開かれていないのはどうしたところか、しかも人も集まるのは一年、二年で三年の人は至つて少ない。これは進學就職の最後の仕上げでラストスパートをかけ

らておられるのをむを得ないと思ひますが、少しくなつたか、広い議場に居る議員さんへは教には何か準備をしようといふにすつてゐるのを見てもわれらの自治を守れないと到底云へるにやない。治会、強力な自治会をば出来さるゝやない。とにかく今のままでは自治会は決してよくならない。何らかの方法でこのわれわれの自治会を盛り上げなければならぬ。そのため、第二に現議員、執行委員の反省を促した

見をまとめ議案に提出し、議案報告をする責任をもつてゐる筈である。それをしないのは怠慢というほかはない。自治会やクラブ活動の方をやるも学力が低下するといわれる。しかし低下するかも知れない。しかしそれは普通の勉強の仕方をしてゐるからで、自分さうその氣になつて努力さへすれば、少しぐらいのハンディキャップはすぐ取りも替へるのではないだろうか。勉強ばかりが学生生活ではない筈である。又、自治会員の方も自分たちで選んだ役員、議員の行動は最後までたえず見ていた

しているんだ、僕等の選んだ議員は一体何をしているんだ、と云うような声が当然出てしかるべきだと思ふ。よしよしと云う声や、意見等が會員の間から出てこそ始めてわれらの自治会私達の自治会と云えるのである。与えられた自治会からもらったのだと云ふ氣ではいつまでたつても眞実のものでは生れない。十一月もあと数日で終り、もう年末も目前にせまつてゐる。われわれもこのあたりから今後の一年間を反省し今後何をなすべきか考へてみるのも無益なことではあるまい。近頃の学生はと

平均的に云つてそのよき時期にあるのだらう。なるほど高理想をかけた前に進みとは大抵である。しかし過去を全く捨去り前進のみを志すするのはよいことではない。過去あつての現在であり、未来なである。人間から歴史を断りければおそろしく何物も残らない。いつまでもうわいていた。保持ではなくして、落付いて一歩自分の足もとを自指してこつてではないか、永遠の真理自由を自指してわれわれの求めるのはただ一つ、これのみで

国文学科（国語、十五名・社会福祉科）十二名・生活学科（英語）十三名・生活学科（一）学生の数学、地学以外の理科、家庭、体育、十二名の四科目七生科に分担して行われ、どのクラスもこれら先々の授業を熱心によつていのが見られた。

そこで放課後、五、六人の先生に阿部の生徒の授業中の態度等を指摘すると見た。

「行儀は非常に良かつたですがやはり女子だけのクラスとか質問などが少なすぎて活気のないクラスでは苦手です。男女ミックスではどうでもないんですが。一般に云つて上級生の方に野次が多かつたで

また私達は教生である以上この学校の方針に従わねばならないのですが個人にまかすようになつていきます。」と記者に語られた。

府教 原谷女史を
委員 迎えて

家庭クラブ十一月總會〇
去る十一月十五日午前九時半より本校講堂に於いて家庭クラブ十一月總會が行われた。先ずデイーンの荒木先生のお話につづき、府

終了後討論會「女子に大学進学は必要か否か」についていろいろ議論がたかかわされ、顧問の先生のお話があつて同十二時終了した。

聖火第四號原稿募集

生徒の発意により誕生し、生徒自身の手によつて今迄発行されて来た自治会文化雜誌「聖火」は、創刊以來既に三号が発行されたが今年も卒業を記念して発行する事になりました。

今迄の三号の間に固められた基礎の上に更に充実した雑誌にするために、特に今年は創立三十周年を記念すべき年にあたつたことまでのものでより一段と秀れた作品の以つて応募を期待しています。

〔應募規定〕

一、応募資格 本校教職員、生徒、PTA会員、同窓会員

二、種類 小説、隨筆、詩、短歌俳句、論文、研究発表、評論文その他文芸作品等

三、応募締切 一月十五日

四、提出先 自治会文化部直接持参のこと。

自治會文化部

現代日本の美術

眞鍋蕃



敗戦日本の絵画界は将に意気消派を綜合せんとするものである

次、将来を感念していたが、国連の復興、兵に謝、息吹か返しの新生日本を絵画を以て精進し、この一冊を開かれては各種の展覧会とも契の意氣さすまざる程の感激にしている会場さである程

出品増進である。質に於ても亦は是をこを傳ない程の漸新奇を得たことがあつて欲しいものである。先づ日本画界では、大に伝統を守ると共に、更に洋画等の手法をとり入れて、新しい日の特色を生み出さんとするものゝ色とりどりである。次に洋画は、寫實派から作家の個性畫へは是をこを傳ない程の漸新奇を得たことがあつて欲しいものである。先づ日本画界では、大に伝統を守ると共に、更に洋画等の手法をとり入れて、新しい日の特色を生み出さんとするものゝ色とりどりである。次に洋画は、寫實派から作家の個性畫へ

つて生ずる幾多の新傾向のものから、先きに催されて大好だつた高島屋の松園展松坂屋の松園展の如き誠に印象深いものでつた。(筆者は本校芸芸絵圖科主任)

PTA十一月例会
阪大渡辺教授の講演
PTA十一月例会は、去る十二月二十(土)午後一時より開かれ、

丁に於いて、中間審査の結果及び三年生模範試験の結果に就いて父兄と担任との談があつた。又講演の後で、應勸教授と二年生の座談會が講堂で行われた。

国破在山河、城春草木深」とは杜甫の詩である▼この詩の「破れ」は敗戦の意でなく、国家の機構が崩壊することを意味するところだが▼わが国は一度は敗れたが、戦後七年、自衛のための戦争と銘打つて再び同じわだちを踏もうとしてゐる▼だが良い戦争はな々悪い平和は存在しない▼そして今やこの詩ほどではないが、二つの流れが相対し、社会は動揺している▼この時に当り、わが阿部高生は？

▼何を思い、かつ何を行つてゐるか▼學業の成績のみに一杞一憂し、怠惰なる機械の如く、日々を送る▼自治会の崩壊の期はせまり、言論、自由はおびやとされつある▼のに大半の生徒は、無氣力にそして又、尊い自分の青春を、映画その他低級娯樂にすりへらす▼彼らは、自分の「若さ」に対して恥しくはないのだからか▼また一人前の口をきく、一人前の風体をしていても、無邪氣がすぎで、幼児と同じ精神命令しかないのであるうか▼革靴を履き、校舎内を臆面もなく歩いている▼最も唾棄すべき虚栄と、法を曲げるといふ歪んだヒロイズム、否それよりもその人の常識のなさを暴露していることさう知らぬ愚か者▼そして、また……これらの人の中に立つて平和を叫び、自由を守れと叫ぶ人は左だとかたでければ、白眼視される▼人間の真情を叫びつづける時代の先駆者たちは、同じ人間の無知より敵視され、やがてはこの冷然な社会より葬られる▼これが現実であり、矛盾した社会なのである▼阿部高生よわれわれは無知蒙昧な生徒であつてはならぬ▼後に気がつき瞞されたことを口惜しめる人間であつてはならぬ▼数字のなれば力ではない、字句の解釈ではない▼その中から何ものかを、人間の真情をつかみとるのだ▼方法ではない、技術でもない▼血と肉を賭け若さにかけて、自分正ししいと信じた道を歩もうでは

